

報道関係各位

平成 29 年 9 月 19 日
一般財団法人 沖縄美ら島財団

沖縄の自然・歴史・文化に関する調査研究や技術開発を支援します 平成 29 年度沖縄美ら島財団助成事業 採用事業を決定！

一般財団法人 沖縄美ら島財団（沖縄県本部町）では、地球温暖化や生態系保全等の環境問題への対応、沖縄の自然環境や歴史風土を活かした観光及び産業の振興、公園利用の多様化等に対応した公園管理運営等の課題に対し、調査研究・技術開発並びに普及啓発活動を行う個人、団体に対して助成を行っています。

この度、厳正なる審査の結果、応募総数 28 件の中から 6 件を採用いたしました。

なお、本助成事業の研究成果については、当財団ウェブサイトや発表会の開催等により、公表させていただきます。

■採用事業

1. 亜熱帯性動物に関する調査研究・技術開発 3 件

(1) アオウミガメの餌嗜好性しこうせいに関するバイオロギング研究

（亀田 和成：NPO 法人日本ウミガメ協議会附属黒島研究所 主任研究員）

(2) 沖縄島北部座津武川上流ざつせんにおける溪流性カエル類の生態的研究

（千木良 芳範：宜野湾市立博物館 館長）

(3) 慶良間諸島座間味島におけるウミガメ類の上陸・産卵および孵化率調査

（安里 瞳：国立大学法人琉球大学ウミガメ研究会ちゅらがーみー
副会長兼座間味調査担当）

2. 亜熱帯性植物に関する調査研究・技術開発 2 件

(1) 沖縄に自生するホソバワダン（ニガナ）の多様性調査と活用に向けた研究

（齊藤 由紀子：国立大学法人琉球大学 教育学部 准教授）

(2) ヒト臍帯静脈血管内皮細胞さいたいじょうみやくにおける eNOS mRNA 発現に対するシークワサーの効果

（砂川 昌範：公立大学法人名桜大学 人間健康学部 人間健康学部長）

3. 歴史文化に関する調査研究・技術開発 1 件

(1) 琉球王国の茶道具と茶文化の研究—首里城出土の天目茶碗と宜興窯紫砂壺ぎこうようし さ こを中心に—

（森 達也：沖縄県立芸術大学 美術工芸学部 全学教育センター 教授）

<お問い合わせ> 一般財団法人 沖縄美ら島財団 広報 IT 課 菅間・又吉

TEL 0980-48-3649 / FAX 0980-48-3122